

令和 年度 「高等学校 日本史 A 新訂版」 (35・清水・日A310) シラバス案

教科	地理歴史科	単位数	2 単位	学科	日本史 A	学年／学級	
----	-------	-----	------	----	-------	-------	--

●学習の目標と評価規準

科目の学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の近現代の歴史の展開を国際環境や地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させる。 近代の特色を大観的に捉えるとともに、諸資料を活用して歴史を考察し表現する能力を培う。 諸事象の本質をその歴史的な形成・展開の過程の実証的な考察によって捉える歴史的な見方や考え方を身につけ、歴史的な思考力の育成を図る。 国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
使用教科書／教材	高等学校地理歴史科 「高等学校 日本史 A 」 (35・清水・日A310)

科目の評価の観点

【関心・意欲・態度】	【思考・判断・表現】	【資料活用の技能】	【知識・理解】
我が国の近現代の歴史と現代の諸課題に対する関心を持ち、主体的・意欲的に学習活動をしている。	我が国の近現代の歴史と現代の諸課題に関する歴史的事象を多面的・多角的に比較・考察した上で、その結果を的確に発表（レポート、プレゼンテーション、ディベートなど）する。	我が国の近現代の歴史と現代の諸課題に関する諸資料を見学・収集し、吟味・考察してその成果を適切に年表・地図などに表現する。	我が国の近現代の歴史と現代の諸課題に関する相互の因果関係を公正に読み取る能力と近現代史を座標軸となる知識を踏まえて大観的に捉えることのできる能力を身につけている。

●学習の計画と評価の方法

月	配当時間	編	学習内容（目次）	学習のねらい（目標）	留意点	評価の方法
4月		(1)	歴史に学ぶ 近代史を学ぶ前に			
			I 東アジアと日本の文明化 II ユーラシア世界の激動と武家幕府の成立 III 幕藩制国家の成立と東アジア世界	<ul style="list-style-type: none"> 縄文時代から近世にいたる時代区分座標軸となる歴史的事象を理解する。 近世の国家体制の実態や民衆の生活と文化と東アジア世界の中での日本の位置付けなどを読み解くとともに、諸資料を活用して年表や地図に表現する。 		【関心・意欲・態度】授業への参加度やノート（ワークシート）作成 【資料活用の技能】年表や地図の作成
		2	序編 私たちの時代と歴史			
			1 日本の近代化とアイヌの人権 2 近代・現代とはどういう時代であったのか	<ul style="list-style-type: none"> アイヌの人びとの人権を通して近現代の日本の課題を考察し、調査結果をレポートにまとめて発表する。 歴史の当事者としての意識を持たせる工夫を試みる。 	・近現代の歴史的事象と現在との結びつきを考察させる学習活動を通して、歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義に気付かせる。	【関心・意欲・態度】ワークシート 【資料活用の技能】地図・年表・諸資料等 【知識・理解】レポート・発表・討論
5月		第1編	第1章 国際関係の変化と幕藩体制の動揺			
	5		1 19世紀の世界とアジア 2 外国船の来航と海防策 3 新しい学問と思想 4 社会の変化と農民の動向 5 幕藩体制の動揺と幕政・藩政改革	<ul style="list-style-type: none"> 産業革命の進展によってイギリスを中心に資本主義が急速に発展し、欧米諸国が18世紀以降にアジアに進出してきた背景を考察する。 ロシア・イギリスなどの外国船の来航と蝦夷地の動向やそれに対する海防論や幕府の対外政策の変化について理解する。 	・産業・経済の発展、学問・思想、教育における近代の萌芽や欧米諸国のアジア進出に着目し、幕藩体制動揺期の内外の情勢について考察する。	【関心・意欲・態度】授業への参加度やノート（ワークシート）作成 【資料活用の技能】年表や地図の作成 【思考・判断・表現】レポート

月	配当時間	編	学習内容（目次）	学習のねらい（目標）	留意点	評価の方法
				<ul style="list-style-type: none"> 儒学と教育が普及し、国学と蘭学が隆盛し、封建社会の矛盾を打開・批判する政治思想が出現した因果関係を考察する。 商品経済の発達で村社会の変化をもたらした、貧富の差の拡大や飢饉を背景に百姓一揆や村方騒動が増大したことを認識する。 幕藩体制の動揺と内外情勢の緊迫の中で実施された幕政改革や藩政改革の評価と課題をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文献、絵画、地図、写真、映像、統計、グラフなどの諸資料を読み解くとともに、その成果をレポートや年表や地図などに表現する。 	の作成・発表 【知識・理解】 小テスト
			第2章 明治維新と近代国家の形成			
		11	1 ペリー来航と日米和親条約 2 通商条約の締結と安政の大獄 3 貿易の影響と尊王攘夷 4 倒幕運動の展開 5 幕府の滅亡と新政府の成立 6 近代国家の成立と国民の誕生 7 地租改正と殖産興業 8 文明開化 9 明治政府の国際関係 10 国境の画定と北海道の開拓 11 不平士族の反乱と日朝修好条規	<ul style="list-style-type: none"> ・ペリー来航から日米和親条約にいたる対外情勢の動向と幕府の対応の適否を考察する。 ・通商条約の締結に対する国内政局の動向と課題に注目する。 ・開港後の貿易が国内経済の混乱を招き、尊王攘夷運動の激化にも影響したことを理解する。 ・討幕運動の展開と幕府・諸藩・英仏など諸外国の相互の関わりとの因果関係を大観的に捉える。 ・江戸幕府の滅亡から明治新政府の成立にいたる経過を読み解く。 ・版籍奉還・廃藩置県・四民平等政策などを通して明治新政府の政治理念を探究する。また、明治新政府の近代化政策とそれに対する民衆の動向に注目する。 ・文明開化の実態と民衆の生活・文化への影響を考察する。また、岩倉使節団の派遣などを通して明治初期の外交課題をまとめる。 ・国境の画定政策を通して江戸時代の「四つの口」に対する明治新政府の対応ぶりを確認する。 ・大久保利通と西郷隆盛の動向から明治新政府の進路を考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開国以後、明治維新をへて近代日本が急速に形成された過程を、国際環境と関連付けて考察する。 ・文明開化などに見られる欧米文化の導入と明治政府による諸制度の改革にともなう社会・文化の変化に着目する。 ・文献、絵画、地図、写真、映像、統計、グラフなどの諸資料を読み解くとともに、その成果をレポートや年表や地図などに表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【関心・意欲・態度】授業への参加度やノート（ワークシート）作成 ・【資料活用】年表や地図の作成 ・【思考・判断・表現】レポートの作成・発表 ・【知識・理解】小テストや定期考査
			第3章 立憲政体の成立と国際的地位の向上			
		12	1 自由民権運動と政党の結成 2 松方財政と民権運動の激化 3 立憲体制の確立 4 初期議会と条約改正 5 日清戦争 6 日清戦争後の政治と日英同盟 7 日露戦争 8 ポーツマス条約と満州・樺太 9 韓国の植民地化 10 近代産業の発展 11 社会問題の発生と政府の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・自由民権運動が政府に何を求め、その結果どのような成果を得たかを考察する。 ・松方財政が国民生活や自由民権運動にどのような影響を与えたかを読み解く。 ・大日本帝国憲法とそれに依拠した立憲体制の実態を分析する。また、初期議会の動向と条約改正の成功を、当時の世界情勢に着目して考察する。 ・日清戦争が近代日本にどのような影響を与えたかを、アジア世界の視点で捉える。また、日清戦争後の内外情勢の変化や日露の対立の原因を広く世界の歴史に着目して考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、政党の役割と社会的な基盤に着目し、国際環境や政党政治の推移について考察する。 ・産業革命の進行、都市や村落の生活と社会問題の発生、学問・文化の進展と教育の普及に着目し、近代産業の発展と国民生活の変化について考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【関心・意欲・態度】授業への参加度やノート（ワークシート）作成 ・【資料活用】年表や地図の作成 ・【思考・判断・表現】レポートの作成・発表 ・【知識・理解】小テストや定期考査

月	配当時間	編	学習内容（目次）	学習のねらい（目標）	留意点	評価の方法
			12 明治の思想・学問・文化	<ul style="list-style-type: none"> 日露戦争の結果、日本は世界でどのような地位を占めるようになったかを分析する。 満州経営や韓国の植民地化がどのように進められたかを、国民意識の変化にも着目して読み解く。 日本の近代産業がどのような経緯で発展していったのかを多角的に理解する。 資本主義の発達が社会問題や労働問題を生んだ因果関係と政府の対応策を考察する。 伝統的な文化の上に欧米文化を取り入れて形成された近代文化の特色を、国家主義の浸透を踏まえて多面的に捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> 文献、絵画、地図、写真、映像、統計、グラフなどの諸資料を読み解くとともに、その成果をレポートや年表や地図などに表現する。 	
10月		第2編	第1章 第一次世界大戦と日本			
	11	大戦期の世界と日本	1 護憲運動と大正デモクラシー 2 第一次世界大戦への参戦と国際関係の変化 3 大戦景気と米騒動 4 政党内閣の成立と戦後恐慌 5 ヴェルサイユ体制 6 国際連盟の成立とワシントン体制 7 社会運動の高まり 8 関東大震災と政党内閣の時代 9 大衆文化の成立 近代の追究 ①近代日本の住環境（主題学習） ②大日本帝国をめぐる人口移動（主題学習）	<ul style="list-style-type: none"> 大正デモクラシーの意味とその展開過程を大観的に捉える。また、第一次世界大戦前後の国際情勢と我が国の対応の背景を分析する。 ロシア革命の内容とその世界や日本への影響を考察する。 ヴェルサイユ講和条約からワシントン体制にいたる動向が世界に与えた影響と我が国の立場を多面的・多角的に考察する。 都市中間層の成長と政党政治の動向を理解するとともに、その課題についても着目する。さらに 大戦景気から戦後恐慌を経て産業構造や社会の変化をもたらした状況を読み解く。 さまざまな社会運動が高揚した時代背景を考察するとともに、その課題についても着目する。 大正デモクラシー期の国民生活の実態を調査するとともに、現代と比較してまとめる。 大衆文化が成立した経済的社会的背景を考察する。 * 近代から現代にいたる日本人の住環境の変遷を文化住宅の間取りから読み解く。 * 1945年以前にあった「外地」と「内地」における人口移動の実態と現代の動向を踏まえて課題を点検する。 	<ul style="list-style-type: none"> 第一次護憲運動からの政党政治の推移と近代産業の発展と大衆文化の形成が国民にもたらした影響を考察する。 第一次世界大戦が我が国の外交政策や経済発展に与えた影響に着目する。 文献、絵画、地図、写真、映像、統計、グラフなどの諸資料を読み解くとともに、その成果をレポートや年表や地図などに表現する（近代の追及を手掛かりに、グループ学習や夏休みのフィールド・ワーク学習）。 	<ul style="list-style-type: none"> 【関心・意欲・態度】授業への参加度やノート（ワークシート）作成 【資料活用】年表や地図の作成 【思考・判断・表現】グループ学習や夏休みのフィールド・ワーク学習のレポートの作成・発表 【知識・理解】小テストや定期考査
11月／12月			第2章 第二次世界大戦と日本			
	10		1 金融恐慌と外交政策 2 世界恐慌と昭和恐慌 3 満州事変と国連脱退 4 二・二六事件と日中戦争 5 第二次世界大戦と日本	<ul style="list-style-type: none"> あいつぐ恐慌が日本の社会や政治の方向にどのような影響を与えたかを読み解く。また世界恐慌に対する我が国の対応策を世界と比較しながら多角的に分析する。 満州国が建国されたねらいやその後の日本の針路にどのような影響を与えたかを考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> 世界恐慌からファシズム体制に至る国際社会の動向、国内政治と経済の動向、アジア近隣諸国との関係に着目し、対外政策の推移と戦時 	<ul style="list-style-type: none"> 【関心・意欲・態度】授業への参加度やノート（ワークシート）作成 【資料活用】年表や地図の作成 【思考・判断・

月	配当時間	編	学習内容（目次）	学習のねらい（目標）	留意点	評価の方法
			6 日独伊三国同盟と日米の対立 7 アジア太平洋戦争（太平洋戦争）の勃発 8 日本占領下のアジア 9 戦時下の国民生活 10 日本の敗戦	<ul style="list-style-type: none"> 二・二六事件から日中戦争をへて国家総動員体制に至る過程を国民の視点で分析する。 第二次世界大戦の推移と日本の動向を日米関係に注目して理解する。また、アジア太平洋戦争の展開範囲を地図などの資料を駆使して読み解く。 日本の占領下のアジア各地の動向をアジアの人々の目線で捉える。さらに戦時下の国民生活の実情を、身近な人々からの聞き取りなどを通してレポートにまとめて発表する。日本の敗戦の経緯を考察し、年表などにまとめる。 	体制の強化など、第二次世界大戦と日本のかかわりについて考察する。 ・文献、絵画、地図、写真、映像、統計、グラフなどの諸資料を読み解くとともに、その成果をレポートや年表や地図などに表現する。	表現】レポートの作成・発表 【知識・理解】小テストや定期考査
1月		第3編	第1章 戦後政治の動向と国際社会			
	6	現代の世界と日本	1 占領と改革 2 占領下の政治と労働運動 3 日本国憲法の制定 4 冷戦と占領政策の転換 5 戦後の国際情勢と日本の独立 6 戦後の国民生活と変化	<ul style="list-style-type: none"> G H Qによる改革は戦後の日本社会をどのように改革しようとしていたかを考察する。また、戦後の政党復活や労働運動の高揚の経緯を、戦前からの推移を基礎に把握する。 大日本帝国憲法と比較しつつ、日本国憲法の特徴と成立の意義をまとめる。 冷戦の激化が日本の占領政策に及ぼした影響を考察する。さらに日本の国際社会復帰と日米安保条約の締結がもたらした課題を点検する。戦争体験、物資不足、民主化が国民にもたらした影響についても考察する。 	・占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目し、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察する。 ・文献、絵画、地図、写真、映像、統計、グラフなどの諸資料を読み解くとともに、その成果をレポートや年表や地図などに表現する。	【関心・意欲・態度】授業への参加度やノート（ワークシート）作成 【資料活用技能】年表や地図の作成 【思考・判断・表現】レポートの作成・発表 【知識・理解】小テスト
2月／3月	6		第2章 経済の発展と国民生活の変化			
			1 55年体制の成立 2 平和運動と安保闘争 3 高度経済成長 4 高度経済成長期の日本と世界 5 安定成長から経済大国へ 6 経済大国へのみち	<ul style="list-style-type: none"> 55年体制の成立の背景と安保闘争の意義を考察する。 高度経済成長の経緯をそのひずみにも着目して読み解く。 1970年代の日本の政治経済状況と世界情勢の動向を多面的に捉える。経済大国意識や行革路線が現代の社会に与えた影響にも着目する。 	・戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目し、日本経済の発展と国民生活の変化について考察する。 ・文献、絵画、地図、写真、映像、統計、グラフなどの諸資料を読み解くとともに、その成果をレポートや年表や地図などに表現する。	【関心・意欲・態度】授業への参加度やノート（ワークシート）作成 【資料活用技能】年表や地図の作成 【思考・判断・表現】レポートの作成・発表 【知識・理解】小テスト
			第3章 現代の日本と世界			

月	配当 時間	編	学習内容（目次）	学習のねらい（目標）	留意点	評価の方法
	5		1 世界史の転換—冷戦の終結と「昭和」の終わり— 2 55年体制の崩壊 3 21世紀をむかえて 4 こんにちの世界と日本の課題 近代の追究 ③地域社会の変化—市町村合併の歴史（主題学習）	<ul style="list-style-type: none"> 冷戦の終結の背景とバブル経済出現の経緯を考察する。55年体制崩壊後の政局の動向を世界の動向と関連付けて多角的に捉える。 21世紀の日本外交の推移と平成不況の問題点を理解する。今日の世界と日本の課題を歴史的な視点から把握する。 市町村合併の歴史を読み解くことによって、現代の地域社会の課題を探究する。 	・現代の日本について、世界の動向と関連付けて考察するとともに、我が国の課題と役割について認識する。 ・文献、絵画、地図、写真、映像、統計、グラフなどの諸資料を読み解くとともに、その成果をレポートや年表や地図などに表現する。	【関心・意欲・態度】授業への参加度やノート（ワークシート）作成 【資料活用の技能】年表や地図の作成 【思考・判断・表現】レポートの作成・発表 【知識・理解】小テストや定期考査
	1		現代からの探究 沖縄の基地問題と私たちの課題（主題学習）	<ul style="list-style-type: none"> 現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史に関わる身の回りの社会的事象と関連させた適切な主題を設定し、資料を活用して探究し、その解決に向けた考えを表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身に付ける。 沖縄の基地問題の歴史を調べることを通して、現在の沖縄の抱える問題点や課題を発表する。 		【資料活用の技能】年表や地図の作成 【思考・判断・表現】レポートの作成・発表